

1 製造業の現況

◇**基幹産業としての製造業** 福島県における製造業は、2016年の製造品出荷額等が4兆9,157億円と東北6県中第1位を維持しており、福島県経済の中核をなす基幹産業といえる。

2010年と2016年の各種データを比較すると、各データの数値は低下傾向にあるが、各データの全国順位は大幅な低下には至っていない。景気変動や工場の海外移転など様々な影響がみられる中、首都圏に近く交通網が整備されているなどの地理的条件を活かして、福島県は製造業の集積地としての地位を確保している(図表12-1)。

図表12-1 福島県の製造業の位置

項目	単位	2010年				2016年			
		福島県	全国	全国比(%)	全国順位	福島県	全国	全国比(%)	全国順位
事業所数	所	4,186	224,403	1.9	19	3,971	217,601	1.8	20
従業者数	千人	165	7,664	2.2	19	150	7,498	2.0	20
製造品出荷額等	億円	50,957	2,891,077	1.8	20	49,157	3,131,286	1.6	22
付加価値額	億円	17,281	906,672	1.9	19	16,183	980,280	1.7	22

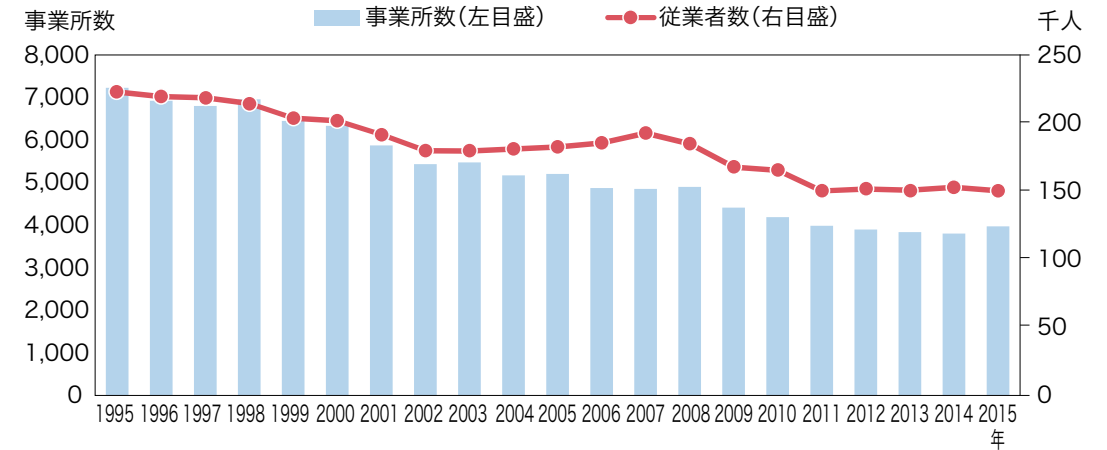
資料：経済産業省「工業統計」、「平成28年経済センサス活動調査産業別集計(製造業)」
注：製造品出荷額等と付加価値額は2015年数値

◇**減少する事業所数と従業者数** 製造業における事業所数(従業者4人以上)と従業者数は、震災による廃業や県外避難者による人口減少などから、2016年は事業所数が3,971事業所、従業員数が150千人と、ともに震災前の2010年を下回り、全国順位も第19位から第20位へと下落している(図表12-2)。

◇**製造品出荷額等と付加価値額** 製造品出荷額等は、2007年に6兆1,805億円と初めて6兆円を超えたが、翌年のリーマンショックと2011年の東日本大震災の影響が大きく、震災が発生した2011年には4兆3,209億円と1995年以降では最低となった。

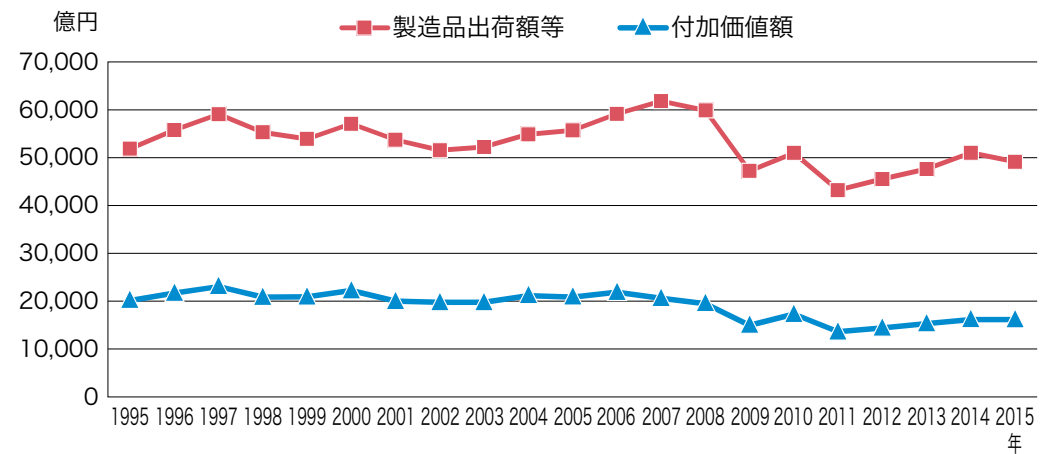
付加価値額については、1997年にピークの2兆3,044億円となり、それ以降は2兆円前後で推移していた。しかし、リーマンショックと震災により大きく減少し、2011年は1兆3,644億円とピーク時と比較して40%以上減少した(図表12-3)。

図表12-2 福島県内製造業の事業所数・従業者数推移



資料：福島県「工業統計調査結果報告書」「平成28年経済センサス活動調査(製造業)」
注：従業者4人以上の事業所

図表12-3 福島県製造品出荷額等・付加価値額の推移



資料：福島県「工業統計調査報告書」「平成28年経済センサス活動調査(製造業)」
注：従業者4人以上の事業所

2 製造業の特徴

(1) 業種別構成の変化

◇**加工組立型の業種が大きく伸びる** 福島県の製造業は、情報通信機械や輸送用機械をはじめとする加工組立型産業が主力となっている(図表12-4)。

製造品出荷額等について業種別にみると、1980年は化学工業、金属製品などの基礎素材型が41.6%を占め、食料品や飲料などの生活関連・その他型も23.5%を占めていた。しかし、2015年では基礎素材型が39.2%、生活・その他関連型が12.7%とそれぞれ低下した。その一方